

市長の問題で全国に汚名！このままの市政でいいのでしょうか

長浜市の名誉を守るため市長の辞職を求めます

事実経過は週刊誌報道に根拠があることを示す

週刊新潮（3月8日号）は、市政の最高責任者である藤井勇治市長が人妻と不倫し、不倫相手を市の第三セクター「㈱えきまち長浜」の職員に採用していたことを報道しました。私たち市民は、長浜市のトップが社会的道義に反し、市政の私物化をしていたというこのような報道は信じたくありません。名誉ある長浜市をおとしめる報道に対して、真摯に迅速に対応する責務が市長にあります。しかし、週刊誌報道から2カ月半が経過しても、藤井市長は、名誉毀損で裁判に訴えることもなく、説明責任を全く果たしていません。それどころか、市長の不倫相手とされる女性は、報道直後に会社を休職し、3月末に退職し、離婚しています。この事実経過は、週刊誌報道が根拠あるものであることを示しています。

社会的道義違反と市政私物化は許されない

市長は「えきまちテラス長浜」への女性採用に「便宜を計っていない」としていますが、市が68%出資の会社の人妻職員と市長が不倫をしていたこと自体が、社会的道義違反と市政私物化となり、許されるものではありません。

一連の報道と市長の対応は、市政への市民の信頼を裏切り、長浜市の印象を著しく低下させ、「このような人をなぜ選び、市長にしているのか」という市内外からの非難を呼び、私たち市民の名誉を著しく傷つけています。また、市職員の公僕として働く意欲を削いでいることも明白です。

今も将来も市政への悪影響は深刻

市長の不倫相手を採用していた㈱えきまち長浜は、市が3億円を投入しましたが、8千万円の累積赤字を出し、3月補正予算でさらに1億2千万円と湯水のような税金を投入を決めました。しかも長浜駅から通じる2本目の橋は7億4千万円も投じていますが、駅前の景観と利便性を著しく損ない、利用者もまばらで、「税金のムダ遣い」とごうごうたる非難の声があがっています。

今後長浜市では、駅周辺開発だけでなく、産業文化交流センター、斎場・汚泥処理場・焼却場、北部体育館建設などの大型公共事業が目白押しです。社会的モラルが欠如した市政のもとで、腐敗・汚職が懸念されます。

職責が果たせない市長の辞職を求める

女性問題が発覚した新潟県米山知事は、「知事はみんなから尊敬される太陽のような存在であるべき。そうではないということ自体が職責を果たせていない」と潔く辞職しました。

市民の模範となるべき市長が、社会的道義を破り、職責を果たせず、市民の名誉を傷つけている現状に、良識ある人々が心を痛めています。長浜に誇りを持つ私たちは、思想信条・党派を超えて、「長浜市の名誉を守るため市長の辞職を求める会」を結成し、運動を進めることを決めました。長浜を愛するみなさんのご賛同をお願いします。

市民が信頼できる市政を考える大集会

☆5月27日（日）午後2時

☆びわ・リユートプラザ（難波町）

私も賛同します
（アイウエオ順）

- 長浜市議 浅見 信夫
- 国民救援会市支部長 井上 清孝
- 弁護士 片桐 善衛
- 長浜市議 鬼頭 明男
- 市農業委員会副会長 斉藤 佳伸
- 滋賀県議 杉本 敏隆
- 元市老ク連会長 千田 敏彦
- 元高校教師 高山とおる
- 元県労連議長 辻 義則
- 住職 長谷 良雄
- 元中学教師 西尾 修
- 長浜市議 西尾 孝之
- 元滋賀県議 橋本 正
- 元びわ町長 橋本 健
- 新婦人県事務局長 橋本 典子
- 元長浜市議 速水とみを
- 元長浜市議 阪東 民男
- 元滋賀県議 脇坂 武

長浜市の名誉を守るため
市長の辞職を求める会

（世話人）

- 竹内 達夫 長浜市議
- 脇阪 宏一 前長浜市議
- 土田美代子 元虎姫町議
- 秋野 久子 新婦人支部長

連絡先 090-1679-4293

市民が信頼できる市政を考える

市民集会

日時：5月27日（日）午後2時

場所：びわ・リュートプラザ

（びわ文化学習センター リュートプラザ 長浜市難波町 505）

集会では、専門家、各界の識者のトークをメインに、長浜市長の女性問題の本質を明らかにします。入場無料です。あなたもご参加ください。

市長の辞職を望む。長浜市のトップだから信頼が一番だと思いません。

声

びっくりです。選挙前に知っていたら投票しませんでした。

声

不倫疑惑の徹底究明とけじめをはっきりさせるべき。事実であれば辞任を。

かつて滋賀県選出の宇野宗佑総理は、「毎月の手当30万円
で愛人」という女性スキャンダルで、わずか69日で辞任しま
した。2年前、女性タレントとの不倫疑惑で宮崎謙介衆議
員（京都3区）が辞職しました。昨年12月には、岩手県石巻市長、
福井県あわら市長がいずれもセクハラで辞職。本年4月には新
潟県知事が金銭授受を伴う女性問題で辞職。財務省の事務次官
も女性記者へのセクハラが発覚し辞任。現在も、東京都狛江市
長や群馬県みなかみ町長らがセクハラで市民から辞職を求めら
れています。事の本質を悟って自主的に辞職した新潟県知事以
外はいずれも、発覚当初は「事実無根」などと主張していまし
たが、市民世論とマスコミが許さず辞職に追い込まれました。
女性スキャンダルは政治家の資質を鋭く問います。社会的道
義に反する人が、市民の上に立ってまともな政治はできないの
ではないでしょうか。

市長に損害賠償を求める訴訟を準備

市長不倫問題は「事実無根」「でっち上げ」と言う人がいますが、それなら、何故、市長は名誉毀損で週刊新潮を訴えないのでしょうか。

市長の不倫報道とそれへの不誠実な対応は、長浜市民の名誉を傷つけています。真実を明らかにするために、市長に損害賠償を求める集団訴訟を準備しています。

主催：長浜市の名誉を守るため市長の辞職を求める会（090-1679-4293）